# 9742-10

## 光センサ **OPTICAL SENSOR**

### 取扱説明書 / Instruction Manual

2013年9月改訂3版 Printed in Japan 9742B980-03 13-09H

600100483

### HIOKI 日置雷機株式会社

■ 製品のお問い合わせはコールセンターまで

**20120-72-0560** 9:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日を除く

TEL 0268-28-0560 FAX 0268-28-0569 E-mail info@hioki.co.jp

#### ■ 修理・校正のご依頼はお買上店(代理店)または最寄りの営業所まで

また、ご不明な点がありましたらサービスお問合せ窓口まで TEL 0268-28-0823 FAX 0268-28-0824 E-mail cs-info@hioki.co.jp

■ お問い合わせ・販売ネットワーク

http://www.hioki.co.jp/contact/

本社 〒386-1192 長野県上田市小泉 81 TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559

保 証 書						HIC	)KI
形名 9742-10 製	造番号		保証期	間 購入E	日 年	月より	21年間
証期間内に故障した たします。また、製品 の補償請での補償とされ な認ふ、製造後一定期 び部品の生産中止、ご	す。万つご使先に 方。万つご使先に 一ご使先に 「たい ないまか」 「ない」 「 「ない」 「 「ない」 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	-234556772. 三製損取ま弊取お損外火罰を損各168本 (ビビ戸) -1-12.2. 用御: -6	次品纂扱た社扱莨纂睍災皮の纂種社証の殊機構で証明 的の、説は以説い、上、数や通証の殊機構で証件 な測被明使外明上の風等天信書他な器器そ書語記 一様的 その一様の一様のであった。 の数の目には、した、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	傷結 にによに後 化害、地 ネ提社念主。旨日aral 一 式長なが づる修示輪 筐地争等 トが貴宇に組連国内 ス 野野 かけ しんしょう しんしょ しんしょ	やれ、 の、暴不 一小と根のるんため、 さも下 ズ雷打抗 接合な器医でだ有い でたち 洋動口 ク場み機器医でだ有い の、 部でした。 の、暴不 一小と根のの にの等 等、為力 続 され のの のでたす。 の 、 るり の の した。 たち の 、 るり の の の にの 、 の 、 る の 、 る の 、 る の 、 る の 、 の 、 の 、	二 次 か い	三次 的な 及い、 およの消よ でで、 、 初年 でで、 、 の な でで、 、 の な の 消よ で 、 の 消よ で 、 の 消よ で 、 の 消よ で 、 の 消よ で 、 の 消よ で 二 常 た よ よ び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で に 、 び 消 だ で 、 の う よ び で 、 の う よ び で 、 の う よ び で 、 の う よ び で 、 の う よ び で 、 の う よ び で で 、 の う よ び で で 、 の 、 の う よ び で で で 、 の う 、 の う よ び で で で 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の で で 、 の つ で の 、 の つ の 、 の の つ 、 の の の 、 の つ の 、 の つ の 、 の つ の 、 の つ の 、 の つ の 、 の つ の の 、 の つ の 、 の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ

#### はじめに

このたびは、HIOKI 9742-10 光センサ をご選定いただき、誠にありがとうご ざいます。この製品を十分にご活用いただき、末長くご使用いただくために も、取扱説明書はていねいに扱い、いつも手元に置いてご使用ください。 概要

9742-10 光センサは、3664 光パワーメータ用の光センサです。測定波長 320 ~ 1100 nm、最大 50 mW まで測定可能です。

#### 点検

本器がお手元に届きましたら、輸送中において異常または破損がないか点検し てからご使用ください。万一、破損あるいは仕様どおり動作しない場合は、お 買上店(代理店)か最寄りの営業所にご連絡ください。

## 安全について

本器を安全にご使用いただくために、また機能を十二分に活用いただくため に、下記の注意事項をお守りください。

### **▲危険**

この機器は IEC 61010 安全規格に従って、設計され、試験し、安全 な状態で出荷されています。測定方法を間違えると人身事故や機器 の故障につながる可能性があります。取扱説明書を熟読し、十分に 内容を理解してから操作してください。万一事故があっても、弊社 製品が原因である場合以外は責任を負いかねます。

#### 安全記号



取扱説明書の注意事項には、重要度に応じて以下の表記がされています。

- ▲ 危険 操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる危険性が 極めて高いことを意味します。
- ▲ 警告 操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる可能性が あることを意味します。
- ▲ **注意** 操作や取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う場合、または機器を損傷 する可能性があることを意味します。
- 注記 製品性能および操作上でのアドバイス的なことを意味します。

## 使用上の注意

この取扱説明書には本器を安全に操作し、安全な状態に保つのに要する情報や 注意事項が記載されています。本器を使用する前に下記の安全に関する事項を よくお読みください。

### ▲ 注意

- 3664 の電源が ON の状態で、光センサコネクタの抜差しをしない でください。3664本体および光センサの故障の原因になります。
- 光センサの損傷を防ぐため、正確に測定するため、光センサを落下させたり衝撃を加えないでください。
- 受光面には直接手で触れないでください。受光面が汚れると、性 能を満足しなくなる恐れがあります。
- 受光面は、鋭利なもの(ピンセットの先など)や硬い平面との摩 擦は避けてください。受光面を傷つけると、性能を満足しなくな る恐れがあります。
- 断線による故障を防ぐため、ケーブルを折ったり引っ張ったりし ないでください。
- 断線防止のため、光センサコネクタを引き抜くときは、差込部分 (ケーブル以外)を持って抜いてください。
- 過大パワーを入力すると、センサが劣化する恐れがあります。仕様を越える強さの光を入力しないでください。
- 極度に集光されたビームを測定する場合は、センサ上のエネル ギー密度が過大になり、正確な測定ができないことがあります。 また、センサが劣化する原因になります。
- センサ受光部、センサ本体間の中継ケーブルにはストレスがかか らないようにしてください。
- 本器は防じん・防水構造となっていません。ほこりの多い環境や 水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になりま す。
- この機器は室内用に設計されています。安全性を損なわないで 0 ℃~ 40 ℃の温度まで使用できます。

### <u>注記</u>

正確な測定を行うため、受光面にゴミ、ほこり、汚れが付着しないようにして ください。また、傷がつかないようにしてください。

#### 使用前の確認

- 使用前には、保存や輸送による故障がないか、点検と動作確認をしてから使 用してください。故障を確認した場合は、お買上店(代理店)か最寄りの営 業所にご連絡ください。
- ケーブルの被覆が破れたり、金属が露出していないか、使用する前に確認し てください。損傷がある場合は、お買上店(代理店)か最寄りの営業所にご 連絡ください。

## 什様

測定波長	$320 \sim 1100 \text{ nm}$		
測定パワー	校正波長にて -59 dBm ~ +17 dBm		
最大定格	50 mW (+17 dBm) 全面照射にて		
受光素子	Si フォトダイオード		
受光サイズ	約 9.6 mm × 9.6 mm		
測定確度	± 4.3% 校正条件:校正波長 633 nm、校正パワー 100 μW、 Ne レーザの平行ビーム(約 φ2mm)をセンサ中心に 直入射、3664 光パワーメータとの組み合わせにおい は± 5 %		
波長設定初期値	633 nm, 635 nm, 650 nm, 780 nm 3664 にて波長設定メモリの初期値として上記が設定さ れる(変更不可)		
使用温湿度範囲	0~40 ℃, 80%rh 以下(結露なきこと)		
保存温湿度範囲	-10 ~ 50 ℃ , 80%rh 以下(結露なきこと)		
確度保証温湿度範囲 確度保証期間	23 ± 5 ℃ , 80%rh 以下 1 年間		
使用場所	高度 2000m 以下、屋内		
外形寸法	受光部:約 18W × 37H × 3.5D mm (ケーブル部、カバー含まず) 本体部:約 40W × 84H × 18D mm (ケーブル部、突起物含まず) 受光部ー本体部間ケーブル長:約 160 mm ケーブル長:約 2000 mm		
質量	約 100 g		
	安全性:EN61010-1:2001 汚染度 2		

## 各部の名称

 $\wedge$ 



取付けネジ穴を使って9742-10の受光部と本体部をネジで固定することができ ます。

#### 保守 ・サービス

- 本器の汚れをとるときは、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて、軽く 拭いてください。ベンジン、アルコール、アセトン、エーテル、ケトン、シ ンナー、ガソリン系を含む洗剤は絶対に使用しないでください。変形変色す ることがあります。
- 受光面のクリーニングには、エチルアルコール以外の有機溶剤は使用しない でください。受光面の劣化の原因となる恐れがあります。
- 故障と思われるときは、お買上店(代理店)か最寄りの営業所にご連絡くださ い。輸送中に破損しないように梱包し、故障内容も書き添えてください。輸 送中の破損については保証しかねます。
- 本器の確度維持あるいは確認には、定期的な校正が必要です。



1308

## 測定方法





- 1. 3664 本体の電源が OFF になっているこ とを確認します。
- 2. 9742-10 光センサコネクタの矢印がある 面を上にして 3664 の光センサ接続端子 に差し込みます。
- 3.3664 本体の電源を ON にします。
- 4. 光センサのセンサカバーをとりはずし ます。
- 5. 光を入射します。

#### 注記

- 光センサの脱着時は、必ず矢印があるコネクタ部を持って引き抜いてくださ
- い。コネクタ部以外を持って引っ張っても、取り外すことができません。 • 受光面の汚れ、損傷を防ぐため、測定しないときは受光面にセンサカバーを してください。
- とりはずしたセンサカバーを紛失しないようご注意ください。
- センサカバーの取付けには方向性があります。HIOKIのロゴが図の向きにな るようにセンサカバーを装着してください。

## 受光面のクリーニング

### ▲ 注意

エチルアルコール以外の有機溶剤は使用しないでください。受光面 の劣化の原因となる恐れがあります。

1. センサカバーをとりはずします。

2. 受光センサ部の受光面をレンズクリーニングペーパのようなほこりの出に くいもので軽く拭きます。 受光面に繊維が残っている場合は、光学レンズ用エアブラシなどで吹き飛 ばします。 また、汚れがある場合は、綿をほぐして筆のようにした綿棒を用いて、エ チルアルコールをしみ込ませた状態で軽く拭き取ってください。

## 形寸法図



#### 

# 9742-10

## **OPTICAL SENSOR**

### Instruction Manual

September 2013 Revised edition 3 Printed in Japan 9742B980-03 13-09H



HIOKI E. E. CORPORATION

#### Headquarters

81 Koizumi, Ueda, Nagano 386-1192, Japan TEL +81-268-28-0562 FAX +81-268-28-0568 E-mail: os-com@hioki.co.jp URL http://www.hioki.com/ (International Sales and Marketing Department) 1307

For regional contact information, please go to our website at http://www.hioki.com.

The Declaration of Conformity for instruments that comply to CE mark requirements may be downloaded from the HIOKI website.

#### Warranty

Warranty malfunctions occurring under conditions of normal use in conformity with the Instruction Manual and Product Precautionary Markings will be repaired free of charge. This warranty is valid for a period of one (1) year from the date of purchase. Please contact the distributor from which you purchased the product for further information on warranty provisions.

#### Introduction

Thank you for purchasing the HIOKI Model 9742-10 OPTICAL SENSÓR. To obtain maximum performance from the device, please read this manual first, and keep it handy for future reference.

### Overview

The 9742-10 is an optical sensor for the 3664 OPTICAL POW-ER METER capable of measuring up to 50 mW in the range of wavelengths from 320 to 1100 nm.

## **Inspection and Maintenance**

#### **Initial Inspection**

When you receive the device, inspect it carefully to ensure that no damage occurred during shipping. If damage is evident, or if it fails to operate according to the specifications, contact your dealer or Hioki representative.

#### **Preliminary Checks**

- · Before using the device the first time, verify that it operates normally to ensure that the no damage occurred during storage or shipping. If you find any damage, contact your dealer or Hioki representative.
- Before using the device, make sure that the insulation on the cables is undamaged and that no bare conductors are improperly exposed. Using the device in such conditions could cause an electric shock, so contact your dealer or Hioki representative for repair.

#### Maintenance and Service

- To clean the device, wipe it gently with a soft cloth moistened with water or mild detergent. Never use solvents such as benzene, alcohol, acetone, ether, ketones, thinners or gasoline, as they can deform and discolor the case.
- With the exception of ethyl alcohol, avoid using organic solvents to clean the detector window. These solvents can damage the detector window.

- If the device seems to be malfunctioning, contact your dealer or Hioki representative.
- · Pack the device so that it will not sustain damage during shipping, and include a description of existing damage. We cannot accept responsibility for damage incurred during shipping.

## **Safety Information**

This manual contains information and warnings essential for safe operation of the device and for maintaining it in safe operating condition. Before using it, be sure to carefully read the following safety precautions.

### 🛕 DANGER

This device is designed to comply with IEC 61010 Safety Standards, and has been thoroughly tested for safety prior to shipment. However, mishandling during use could result in injury or death, as well as damage to the device. Be certain that you understand the instructions and precautions in the manual before use. We disclaim any responsibility for accidents or injuries not resulting directly from device defects.

#### Safety Symbol



information that the user should read before using the device. The  $\Lambda$  symbol printed on the device indicates that the user should refer to a corresponding topic in the manual (marked with the  $\overline{M}$  symbol) before using the relevant function.

The following symbols in this manual indicate the relative importance of cautions and warnings.

Indicates that incorrect operation presents an extreme ADANGER hazard that could result in serious injury or death to the user.

ACAUTION Indicates that incorrect operation presents a possibility of injury to the upper or demonstration of the presence of of injury to the user or damage to the device.

Indicates advisory items related to performance or cor-NOTE rect operation of the device.

## **Operating Precautions**

Follow these precautions to ensure safe operation and to obtain the full benefits of the various functions.

### **ACAUTION**

- To prevent malfunctions in the 3664 or the optical sensor, avoid connecting or disconnecting the optical sensor connector while power for the 3664 is ON.
- To avoid damaging the optical sensor and to ensure accurate measurements, avoid dropping or applying any physical shock to the optical sensor.
- Avoid touching the detector window with your bare hands. The detector window must be clean for the sensor to meet the specified performance parameters.
- Avoid scratching the detector window with sharp or pointed objects (e.g., the tips of tweezers) or against hard surfaces. Damage to the detector window may prevent the sensor from meeting specified performance parameters.
- To avoid breaking the cables, do not bend or pull them.
- To avoid broken wires, always grasp the plug to disconnect the optical sensor connector. Avoid pulling on the cable itself.
- Excessive power input may damage the sensor. Avoid exposing the sensor to light whose intensity exceeds specifications.
- Avoid exposing the sensor to intense beams that lie beyond the range in which it can render accurate results. In addition to inaccurate results, doing so may damage the sensor.
- Make sure no stress is applied to the repeater cable between the sensor main unit and its light-receiving element.

### 

- This device is not designed to be entirely water- or dust-proof. Do not use it in an especially dusty environment, nor where it might be splashed with liquid. This may cause damage.
- This device is designed for use indoors. It can be operated at temperatures between 0 and 40°C (32 and 104°F) without degrading safety.

### NOTE

 $\triangle$ 

To ensure accurate measurements, make sure the detector window is free of dust, stains, and any damage.

## **Specifications**

Measurement wavelength	320 to 1100 nm	
Acceptable power range	-59 dBm to +17 dBm at the calibration wavelength	
Maximum rating	50 mW (+17 dBm) with total irradiation	
Detector type	Si photodiode	
Dimensions of light- receiving area	Approx. 9.6 mm x 9.6 mm	
Measurement accuracy	$\pm 4.3\%$ Calibration conditions: Direct a 100 $\mu$ W collimated He- laser beam (approx. 2 mm dia) with a wavelength of 6 nm perpendicularly into the center of the sensor. Accur racy is $\pm 5\%$ when the sensor is used with the 3664.	
Default wavelength settings	633 nm, 635 nm, 650 nm, 780 nm These are the default wavelengths stored in memory by the 3664. They cannot be edited.	
Operating tempera- ture and humidity ranges	0 to 40°C (32 to 104°F), 80% RH or less (no condensation)	
Storage tempera- ture and humidity ranges	-10 to 50°C (14 to 122°F), 80% RH or less (no condensation)	
Accuracy guarantee for temperature and humidity	23 ± 5°C (73 ± 9°F), 80% RH or less	
Guaranteed accu- racy period	1 year	
Location for use	Indoors, altitude up to 2000 m (6562-ft.)	
Dimensions	Light-receiving element : Approx. 18W x 37H x 3.5D n (0.71"W x 1.46"H x 0.14"D) (excluding Sensor cover) Main unit : Approx. 40W x 84H x 18D mm (1.57"W x 3.31"H x 0.71"D) (excluding projections) Repeater cable lengths : Approx. 160 mm (6.30") Cable lengths : Approx. 2000 mm (78.74")	
Mass	Approx. 100 g (3.5 oz.)	
Applicable Standards	Safety:EN 61010-1:2001 Pollution degree 2	

## **Names of Parts**



The 9742-10 sensor main unit and its detector may be attached with screws. (Note the mounting screw holes.)

### **Measurement Procedure**





- 1. Make sure power for the 3664 is OFF.
- 2. Place the 9742-10 optical sensor with the arrow side facing up and insert into the optical sensor connector of the 3664.
- 3. Turn on power for the 3664.
- 4. Remove the cover of the optical sensor.
- 5.Irradiate with light.

#### NOTE

- · Always grasp the connector with the arrow to connect or disconnect the optical sensor. You must grasp the connector to disconnect the sensor.
- To prevent dust accumulation, stains, and damage, cover the detector window with the sensor cover when the sensor is not in use.
- Take care to avoid misplacing the sensor cover.
- Note the correct orientation of the sensor cover. The HIOKI logo should face in the direction indicated in the diagram above.

### Cleaning the detector window

#### 

With the exception of ethyl alcohol, avoid using organic solvents to clean the detector window. These solvents can damage the detector window.

1.Open the sensor cover.

2. Wipe the detector window of the sensor using lens cleaning paper or other lint-free material.

If lint remains on the detector window, blow off with an optical lens airbrush.

If the detector window is soiled, fluff the tip of a cotton swab. Moisten the cotton tip in ethyl alcohol and wipe the surface.

### **Dimensional Diagram**

